とっとり しまね おかやま ひろしま やまぐち
コープCSネット 便り
中国・四国
とくしま かがわ えひめ こうち
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報
第56号
発行
2020年1月10日
通巻56号

CO・OP 9生協の夢広がるネットワーク

謹んで 新春のお慶びを 申し上げます

コープCSネット理事長
小泉信司

旧年中は私どもコープＣＳネットの事業・活動に対し御支援・御協力を賜りありがとうございました

『里海カンファレンス in 恩納村2019』に生活協同組合が参加

『里海カンファレンス in 恩納村2019』が開催され、「生協や流通加工企業との協同による協創」という立場で全国の生活協同組合（5事業連合・16生協）が参加しました。

CONTENTS

ページ
2 3 コープCSネット 役員 年頭の挨拶
4 台風19号にともなう応援報告
5 里海カンファレンス　もずく基金
6 7 コープCSネット トピックス
8 会員生協 トピックス

コープCSネット理事長
小泉信司

謹んで新春のお喜びを申し上げます

旧年中は私どもコープCSネットの事業・活動に対し、御支援・御協力を賜り、ありがとうございました。

昨年は、令和への改元やラグビーワールドカップでの日本代表の活躍等明るいニュースもありましたが、相次ぐ自然災害の発生や消費税増税は、国民生活に大きな影響を与え、国内の消費経済状況も厳しさを増した一年となりました。

急速に進行する少子高齢化・人口減少は、社会保障・介護問題や地域インフラの崩壊・疲弊を招き、将来への不安も大きくなっています。一方、流通小売業界では、スマホ決済等の新たなシステム導入も求められる中、インターネット事業の拡大により、実店舗数は減少の時代となっています。百貨店・大型店舗の苦戦は続き、コンビニエンスストアも飽和状態の中、スーパーマーケット業界・食品小売業界はさらに生き残りをかけた競争が激しさを増してきています。

コープCSネットとしても厳しい消費環境の中、組合員の要望・会員生協の皆様の要望にお応えすべく、カタログ紙面の改善、食品第一媒体のダイジェスト版カタログやおすすめ商品の画像を全面掲載したOCR注文書等の実験に積極的に取り組み、エシカル商品・産直商品を中心としたSDGsの取り組みを進め、消費増税前後の対応も行いましたが、不十分な結果となってしまいました。

2020年は、コープ商品60周年という大きな節目を迎えます。あわせて2030年ビジョンを確認し、生協の事業・運動が新たな一歩を踏み出す重要な年でもあります。コープCSネットにおいても、2030年ビジョンに基づき、会員生協の皆様と第6次中期計画を策定し、その実現に向けて皆様とともに歩んでまいりたいと考えています。

事業面においても、今後のあるべき事業連合・事業連帯の姿を論議しながら、並行して品揃え・価格・企画の見直しや、物流・システムの改善等に積極的に取り組み、会員生協への経営貢献・組合員の生活へのお役立ちに務めてまいりますので、引き続き御指導・御協力をお願いいたします。

最後になりますが、この一年が皆様にとって、幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

コープCSネット専務理事
塩道琢也

謹賀新年

旧年中は弊事業連合の事業、運営にご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピックが1964年以来56年ぶりに開催され、上半期の大きなイベントとして盛り上ることと思います。しかしながら、消費者を取り巻く環境は、増税や社会保険料の負担などで厳しい状況に変わりありません。また、大型台風などの災害によって被災された方々が「普段のくらし」に戻るにも時間が必要な状況です。少子化・人口減少による高齢化率の上昇や世帯人数の減少が急速に進んでおり、生協の事業環境も大きく変化しております。

気候変動の影響や資源の乱獲などの要因からか、季節を象徴するような農産品や水産品の原料事情は毎年のように悪化しており、国際的にも厳しさを増しています。TPP11や2国間貿易協定などで食品の輸入関税が緩和される一方で、国内食料自給率は平成30年にはカロリーベースで37%までに落ち込んでいます。組合員のくらしを支える生協の役割は広範囲になってきています。

コープCSネットでは、国連で策定されたSDGsの取り組み（エシカル商品・産直商品の普及など）を開始して3年余り経過しました。多くの企業でも取り組まれるようになり、社会的な認知度も向上しています。全国の生協と手を取り合ってSDGsの取り組みをすすめ、生協の事業も発展し続けられるように努力してまいります。

本年はコープ商品発売60周年を迎えます。コープ商品は組合員の願い、声をカタチにしたものです。これまで、組合員や取引先とともに、学習会や交流会、産地や工場見学などを通して取り組んできました。これからも組合員のくらしをしっかり見つめ、声を聴き、願いをカタチにしたコープ商品を今後も開発していくとともに、あらためてコープ商品の価値について学び広げていくことで事業を展開したいと考えております。

昨年は国内でラグビーワールド杯が開催され、全国の競技場や観光地などで日本のホスピタリティの高さや文化が海外から評価されました。日本チームの多様なルーツを持つ選手が多様性を受け入れ真のチームとなっていたこと、お互いを尊重し、規律と情熱をもってあきらめない姿に多くの日本人が共感したことも背景にあるように思います。生協も多様な「くらし」を寄せ合い、組合員・生協・取引先と共に「創る」ことを大切にし、これからの一年間を取り組んでまいります。本年も旧年同様にご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年台風19号に伴う応援報告

2019年10月に東海地方から東日本にかけての広い範囲を襲った台風19号は各地に大きな被害をもたらしました。長野県では河川の氾濫で大規模な冠水がおき、県内の広範囲にわたって大きな被害が発生しました。全県レベルでの被災により長野市災害ボランティアセンターでは、災害ボランティアセンターの運営を担える人が不足しました。長野県生協連から人的応援要請を受けた日本生協連の呼びかけにより、全国から多くの生協のなかまが応援にかけつけました。コープCSネットからは２名の職員が人的応援に参加しました。

応援内容：災害ボランティアセンター運営サポート・避難所運営のサポート
応 援 先：長野市災害ボランティア委員会
応援期間：11月６日(水)～11月10日(日)　１名
　　11月10日(日)～11月14日(木)　１名

今回の応援は、被災された方の家を片付けるなどの応援ではなく、災害ボランィアセンターで「ボランティアを希望する地域・避難所とボランティアをしたい人のマッチング」などの運営面での応援でした。多くの方からボランティアの申し出をいただき善意を感じる一方で、マッチング作業には「柔軟な対応と情報共有、素早い判断」が必要となりました。復興には時間がかかりますが、コープCSネットでは今後も要請に応じて支援をすすめていきます。

参加した方より

ボランティアセンターに届いた山口県の幼稚園児からの笑った似顔絵に「がんばってね」というメッセージにこころがホッとしました。一日も早い復興を心よりお祈り致します。

「がんばってね」メッセージに心がホッとしました

日本各地で毎年どこかで自然災害が発生しています。災害から学ぶ防災、減災の必要性を感じたとともに、復興に向けての情報共有が発生から復旧までのスピードに影響します。今回の台風被害は東日本広範囲で被災されているので、ボランティアが分散化されているにも関わらず、多くの方が全国（国内外）から平日休日関係なく駆けつけて来られ急ピッチで復興が進んでいます。（決して足りているという訳ではないです。）改めてたすけあいの気持ちって素晴らしいと感じたとともに、一日でも早い復興を心よりお祈りします。

ミーティングの様子

南部ボランティアセンター内の応援メッセージ

コープCSネットでも職員緊急募金を行いました!

コープCSネットの全部署（組合員サービスセンター、ハートコープおのみち含む）よりご協力いただきました。募金は日本生協連に送金し、①被害の大きい自治体（都道府県・市町村等）への義援金、②被災地で生活支援等の活動を行う民間団体等への支援金、として使われる予定です。

募金額
115,246円

『里海カンファレンス in 恩納村2019』に生活協同組合が参加

日　時　2019年12月7日(土)　9:30～18:00

会　場　沖縄科学技術大学院大学OIST(沖縄県国頭郡恩納村)

里海カンファレンス

『里海カンファレンス in 恩納村2019』が開催され、「生協や流通加工企業との協同による協創」という立場で全国の生活協同組合（５事業連合・16生協）が参加。中国地区会員生協からは、鳥取県生協、生協しまね、生協ひろしま、コープやまぐちが参加し、コープCSネットからは小泉理事長、塩道専務理事をはじめ４名が参加しました。

カンファレンスには、研究会・検討会などの意味があります。今回の「里海カンファレンス」は、「里海の価値と協創」と「沖縄の地域特性を活かした里海づくり」をテーマに開催されました。生活協同組合以外では、漁業関係者、水産加工業者、観光産業関係者、行政、研究者、海洋保全や里海づくりのNPO団体、一般消費者などが参加し、約180名の大規模なカンファレンスになりました。各分野の専門的な立場から事例報告や講演が行われ、多角的な視点で「里海」を語ることにより、里海づくり担い手の多様性や里海を持続させるためのメカニズムなどが浮き彫りとなっていきました。生活協同組合の事例報告では、パルシステム事業連合会　渋澤専務理事（恩納村コープサンゴの森連絡会　会長）より、水産の産直協定や恩納村コープサンゴの森連絡会などの活動を通じて「組合員ニーズにあった商品を供給する」という視点と「里海づくり」という視点で共生の社会をつくることがSDGｓにもつながってきていると報告がありました。

カンフェレンスの総括では、コープCSネット　小泉理事長（『里海カンファレンス in 恩納村2019』実行委員会　委員長）より今後の展望が語られました。2020年の里海カンファレンスは、南三陸町（宮城県）で開催される予定です。

今後の展望を語る小泉理事長

参加したコープCSネット　総合企画室　塩野より

１年前から「恩納村コープサンゴの森連絡会」は、カンファレンス主催の一団体として準備活動をすすめてきました。カンファレンス実行委員長をコープCSネット小泉理事長が務められました。あらためて、里海に関するいろいろな取り組みをお聞きし、生協として参画できることを誇らしく思いました。今後も「もずく基金」を推進し、サンゴ再生支援事業を通じて、微力ながら里海づくりに貢献してまいります。

サンゴ礁再生事業を通じて「里海づくり」に貢献しています

「もずく基金」は、「CO・OP恩納村産味付太もずく」などの対象商品の利用に応じて積立てています。「もずく基金」は贈呈先の恩納村漁業協同組合を通じてサンゴの養殖などに使われ、恩納村の里海づくりや海のサンゴ保全に役立てられます。

2019年4月から11月までの「もずく基金」の積立額は

1,372,915円となりました(前年比87.7%)

2018年度の移植数がほぼ確定し、コープCSネットの基金で約6,450本（2010年～2018年９年間累計）のサンゴの苗が移植されました。現在、「もずく基金」に参加する生協が全国で29生協となっています。この10年間の全国の生協の「もずく基金」の活動で約３万１千本のサンゴの苗が移植されました。

コープCSネット　トピックス

トピックス1　「うなぎ資源対策協力金」436,707円を贈呈

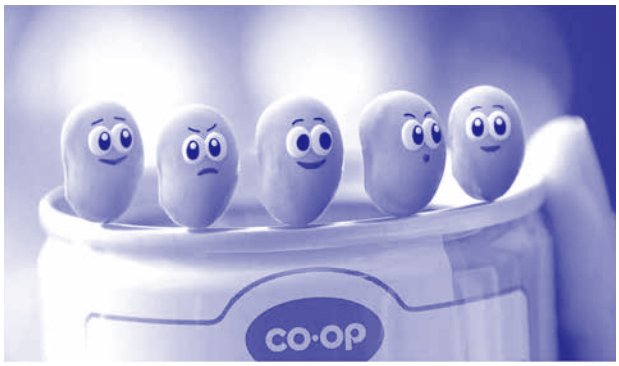
「うなぎ資源対策協力金」は436,707円となり、2019年11月13日(水)にコーププラザ（東京都渋谷区）で、鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会に贈呈しました。今年の取組み期間は、2019年５月１回から８月４回まで。組合員さんに利用していただいた「CO・OP大隅産うなぎ蒲焼」などの対象品１パックにつき３円を積み立てました。この取組みは全国の生協が参加し、全国での贈呈金額は約430万円（コープCSネット含）となりました。「うなぎが棲みやすい環境づくり」の研究などに役立てられています。贈呈後の講演では、鹿児島県商工労働水産部水産振興課　栽培養殖係技術専門員　柳 宗悦氏より、鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会が行ってきた取組みのご報告をいただきました。

前列　左から
鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会 副会長　楠田茂男氏(大隅地区養まん漁業協同組合 組合長)
生活協同組合おかやまコープ 理事長　平田昌三氏
コープCSネット 理事長　小泉信司
生活協同組合コープやまぐち 理事　福浪美紀氏
鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会 会長　宮田幸一氏(鹿児島県内水面漁業協同組合連合会 会長)

後列　左から
大隅地区養まん漁業協同組合 筆頭理事　大和治仁氏
コープCSネット 水産課　名越利成
鹿児島県商工労働水産部水産振興課 栽培養殖係技術専門員　柳 宗悦氏

トピックス2　テレビCMを放送しました!

2019年９月２日～９月16日、鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・香川県の６県においてコープ商品に焦点を当てたテレビCMを放送しました。擬人化された商品が、組合員さんや生協の配送担当者に「商品のよさ」をアピールしています。今回のテレビCM商品は「大豆ドライパック」と「フリーリア　フェイスクリア」。どちらも中国四国の組合員さんに馴染み深い商品です。



大豆ドライパックは供給計画比 216.9%、フリーリアはシリーズ累計で供給計画比 118.1%と商品利用につながりました。

トピックス3　災害復興支援・応援積立　報告

2019年４月１回～９月４回まで積立額は **4,016,767円になりました**

＊報告金額は税抜き価格です

「災害復興支援・応援積立金」として、2019月４月１回～2019年９月４回までの対象商品の供給代金の一部を積み立てました。災害復興支援・応援積立は、大規模災害による甚大な被害が発生した際に、被災者支援、支援物資の提供や被災地域へのボランティア活動の支援などに使用されています。集まった積立金は、2019年12月に中国地区５会員生協に振り分け、用途は中国地区５会員生協で決定します。2020年度においても応援積立を検討しています。

対　象　生　協：中国地区５会員生協
対象商品案内チラシ：HelloCoop、CIEL、Deli-Co、ここくる
対　象　商　品：表紙掲載商品　ご利用１点につき１円を積立
積　立　期　間：2019年４月１回～2019年９月４回

トピックス4 第16回仲間づくり研修会を開催

開　　催：2019年８月29日～８月31日
訪問エリア：広島県福山市中心部の住宅地

初日：訪問前のトーク練習の様子

第16回仲間づくり研修会はフィールドを広島県福山市としました。研修会には中国地区四国地区９会員生協から運営リーダー６名、研修生31名、計37名の参加がありました。２日間での訪問件数は1,713件（在宅593件　在宅率34.6％）、対話数176件、加入３件、再訪問の約束が47件でした。今回の訪問は、初日はペア行動、２日目は１名もしくはペアで行動しました。初日の目標は「対話２件」とし、会話のきっかけをつくる「オープントーク」、商品の良さを伝える「商品トーク」、再訪問の約束までを目標としました。２日目は「加入１件」を目標に掲げ、初日のトークの修正を行ってから訪問を行いました。

研修後に生協ひろしまの職員がエリアを再訪問した結果、再訪問のお約束をした47名のうち13名が加入（27.7％の加入）となりました。訪問エリアを提供していただいた生協ひろしま　箕島支所　支所長からは「加入も大切ですが、生協ひろしまの認知度が向上し、若い職員のやる気が伝わってきた有意義な研修でした」とご報告をいただきました。第17回仲間づくり研修会は2020年に島根県での開催を予定しています。

トピックス5 普通救命講習Ⅰを実施

日　程：2019年11月21日(木)　14:00～17:00
場　所：コープCSネット二葉の里第２事務所３階会議室（広島市東区）
講　師：広島市救急教育センター　職員３名
参　加：コープCSネット職員18名

訓練を行う職員

広島市救急教育センターより講師を招き「普通救命講習Ⅰ」を実施しました。「普通救命講習Ⅰ」では、救急車を呼ぶタイミングや、成人への心肺蘇生法やAED（自動体外除細動器）の使用方法を３時間かけて学んでいきました。初めは恥ずかしがったり戸惑ったりしていた職員も、講習終盤には適確で迅速な救命措置やAEDの操作ができるようになっていきます。講習を終えた参加者には「修了証」が授与されました。

広島市では救急車を呼んで到着するまで約５分。救急車が到着するまでの間に「どれだけ救命措置ができるか」が命を救う鍵となってきます。コープCSネットでは、全職員が「普通救命講習Ⅰ」の受講を完了することを目標にしており、今後も継続して受講をすすめていきます。

トピックス6 2019年度第2回商品クライシス事務局会議を開催

日　程：2019年11月13日(水)　11:00～16:00
場　所：おかやまコープオルガ　４階会議室（岡山市北区）
参　加：中国地区四国地区９会員生協、コープしこく、
　　コープCSネット職員　計17名

模擬記者会見の様子

2020年２月に予定している「商品クライシス演習（以下、演習と表記）」の事務局会議を中国地区四国地区の会員生協事務局と開催しました。演習では、人的被害を伴う商品事故など商品クライシスが疑われる案件が発生した時に、迅速に対応できるか、被害を最少にできるかを検証していきます。前回の2019年９月演習では初動受付の適正性に焦点を当てた演習を実施し、中国地区四国地区の９会員生協44事業所が参加しました。2020年２月演習は初動から商品事故の対策本部設置と運営を行い、各組織の「商品クライシスマニュアル」の実証的検証を行います。

事務局会議では、前回演習の振り返りと改善点を協議し、２月演習の進め方を確認しました。また、実践的なグループワークとしてポジションペーパーの作成・模擬記者会見を行い、対応力の向上を図っています。

会員生協トピックス

店舗リニューアル

2019年10月におかやまコープ、生協ひろしまで店舗のリニューアルオープンがありました。どちらの店舗もリニューアルオープン当日には、組合員さんの長い行列ができました！

おかやまコープ　コープ山陽
2019年10月25日(金)　リニューアルオープン

コープ山陽が１ヶ月の休業期間を経てリニューアルオープンしました。リニューアルオープン当日は2,441人の来店があり、開店前から100人を超える行列ができて多くの組合員さんで賑わいました。加入は10月25日から31日までの１週間で76件、共済は14件となり、全体的に若い方、特に夕方以降の有職者･子供連れの若い夫婦が増えているのが特徴的です。今回のリニューアルでは、青汁コーナーを新たに設けたり、地酒コーナーを充実させるなど既存の組合員さんのニーズに応える一方で、平台を充実させた農産品売り場などの買い回りしやすい売り場作りを実現しました。また、セミセルフレジの新規導入などの最新設備を備え、はじめて生協を利用される方にも喜んでいただけるお店になっています。

来店された組合員さんからは、笑顔とともに「綺麗になった」「広くなったように感じる」「おしゃれなお店になったね」等のうれしい声をたくさんいただいています。コープ山陽では、「新鮮」「安心」「笑顔」で毎日のくらしを応援します。

コープ山陽　オープン当日には100人以上の行列ができました

来店される組合員さん

農産品売り場での詰め放題の様子

生協ひろしま　コープ五日市北
2019年10月26日(土)　リニューアルオープン

コープ五日市北が「笑顔と感動のあるお店」を目指してリニューアルオープンしました！見た目も、品揃えも、サービスもピッカピカです。リニューアルオープン当日は多くの組合員さんが訪れ、2,778人の客数を記録しました！コープ五日市北の「感動」は「KANDO」の５文字。

K＝健康、A＝ 安心・安全、N＝ニーズ、D＝デリィシャス、O＝おもてなし・オンリーワン

「やっぱりコープ五日市北のお店は地域に必要だね。」と言っていただける売り場と、やさしさのあるサービスを目指しています！

コープ五日市北　オープン前の組合員さんの行列

来店された組合員さんの声

・きれいになりましたね！　・ほかの店に来たみたい！　・待ってたわよ。

新しい店内に組合員さんが殺到しました

ベーカリーコーナーは衛生環境を保てる最新のディスプレイに

総菜コーナーはからだデリのバランス弁当を品揃えし組合員さんの健康をサポートします

発行:2020年1月10日･通巻56号　発行責任者:小泉信司　　発行事務局:総合企画室
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合　〒732-8504 広島県広島市東区二葉の里1丁目1-46　TEL:082-236-6800

VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています。
見つめよう 暮らしと地球 資源を有効に、古紙を配合した紙を使用しています。